

令和3年度さいたま市教師塾「夢」講座 開講式 教育長挨拶

令和3年8月28日（土）

皆さん、こんにちは。さいたま市教育委員会教育長の細田です。

皆さんが、さいたま市の教員を志望し、さいたま市教師塾「夢」講座の受講生となったことを、大変嬉しく思います。皆さんの希望に満ちた表情からは、この講座への熱い思いが伝わってきます。

令和3年度さいたま市教師塾「夢」講座開講に当たり、私から激励の言葉を申し上げます。

さて、現在、社会の在り方が劇的に変わる「Society5.0 時代」の到来を迎え、先行き不透明な「予測困難な時代」と言われています。加えて、新型コロナウイルス感染症の拡大は、東京オリンピック無観客開催など、社会状況を大きく変化させています。皆さんの大学の授業も対面からオンライン形式となるなど、その変化を肌で感じていることでしょう。しかし、そうした様々な逆境の中にあっても、自分の将来を見据え、「さいたま市の教師になるために、学び続けたい」と、気持ちを奮い立たせてここに集まっている、そのことが皆さんの様子から感じられ、大変頼もしく思っております。

そして、未来を生きる子どもたちにも、答えのない問いに主体的に向き合い、納得解を探求していく力をはぐくんでいく必要があります。そのために、今皆さん自身が抱いている「常に学び続けよう」という今の思いを、決して忘れないでください。

いよいよ、本日から講座が始まります。この「夢」講座では、大学、教科、志望する校種を越えて学び合うことにより、新たな「学び」が生まれ

ることでしょう。社会が大きく変化する中であって、「学び」は、様々なフィールドを「越境」することで、次のステージへと進化していきます。今こそ、同じ夢を抱く仲間と、熱く語り合う中で、「学び」を新たなステージへと進化させるとともに、支え合い、高め合える関係が必要なのです。

これまで、ここを巣立った多くの先輩方も、毎年、新たにさいたま市の教員となって活躍しています。4期生となる皆さんも、一つひとつの講座を通して、さいたま市の学校教育の特長に触れるとともに、多くのことを学び、「さいたま市の教師になりたい」という思いをさらに高めてください。

結びに、皆さんが、自分の可能性を高め、頼もしく成長されることを期待して、私の挨拶といたします。